

# 宮城県商工地区中小企業景況調査報告書

2025年10月～12月期

## 目次

1. 県下産業全体の景況	2
(1) 主要景況項目のあらまし	2
(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし	3
(3) 今後の見通しについて	4
2. 県下産業別の景況	5
(1) 製造業の動向	5
(2) 建設業の動向	8
(3) 小売業の動向	11
(4) サービス業の動向	14

2026年3月

宮城県商工会連合会

# 中小企業景況調査報告書

2025年10月～12月

## [調査要領]

### 1. 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県内10商工会地区  
(調査対象商工会名) 名取市商工会、大河原町商工会、みやぎ仙台商工会、利府松島商工会、くろかわ商工会、加美商工会、大崎商工会、若柳金成商工会、みやぎ北上商工会、石巻かほく商工会
- (2) 対象企業数 150企業
- (3) 回答企業数 150企業

### 2. 調査対象期間

2025年10月～12月期を対象として、調査時点は2025年12月1日とした。

### 3. 調査方法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査。
- (2) 対象企業の抽出は、商工会に於いて、業種・規模等有意選定。

### 4. 回答企業内訳

業 種	企 業 数
製 造 業	30
建 設 業	25
小 売 業	42
サービス業	53
合 計	150

### 5. そ の 他

本報告書中のD Iとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合と減少(低下・悪化)企業割合の差を示すものである。

# 1. 県下産業全体の景況

## (1) 主要景況項目のあらまし

### ① 業況D I の状況と来期見通し

県下商工会地区における今期（2025年10月～12月期）の調査において、産業全体（全産業）の業況D I（前年同期との比較D I、以下同じ）は、前期と比べ△30.9（前期△34.7）で3.8ポイントの改善となった。産業別では、製造業が△34.5（前期△36.6）で2.1ポイントの改善、建設業は△12.0（前期△36.0）で24.0ポイントの改善、小売業は△50.0（前期△52.4）で2.4ポイントの改善、サービス業では△22.6（前期△18.9）と△3.7ポイントの悪化となった。

来期見通しでは、製造業、小売業で改善する一方、サービス業では悪化、建設業で横ばいの見通しとなっている。

表-1 業況D I の状況と来期見通し（前年同期比・D I）

業種	前期	今期	来期見通し
全産業	△ 34.7	△ 30.9	△ 28.4
製造業	△ 36.6	△ 34.5	△ 25.0
建設業	△ 36.0	△ 12.0	△ 12.0
小売業	△ 52.4	△ 50.0	△ 45.2
サービス業	△ 18.9	△ 22.6	△ 24.5

### ② 設備投資の状況と来期計画

新規投資の実施比率は、製造業で20.0%となり前期比3.3ポイント増加、建設業が20.0%で前期比12.0ポイントの増加、小売業が19.0%で前期比11.9ポイントの増加、サービス業では11.3%で前期比横ばいとなった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期に比べて製造業、建設業、小売業、サービス業すべての業種で減少する見通しとなっている。

表-2 設備投資の状況と来期計画（企業割合・%）

業種	前期	今期	来期計画
製造業	16.7	20.0	6.7
建設業	8.0	20.0	12.0
小売業	7.1	19.0	9.5
サービス業	11.3	11.3	5.7

## (2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

### ① 売上額（完成工事額）

2025年12月調査の日銀短観で、中小企業の業況判断指数（D I）は前期（2025年9月調査）と比較し、「製造業がプラス5、非製造業でプラス1の見込み。人手不足の深刻化や人件費の増大、日中関係の悪化に伴う訪日中国人旅行者の落込みへの懸念等が業況を下押しする一方、対米通商交渉の妥協を受けた不透明感の緩和や、エネルギー安によるコスト低下等が景況感を下支えする見通し」と発表された。

宮城の今期売上額（完成工事額）D Iは、前期との比較では製造業、小売業、サービス業で悪化、建設業で改善となった。

今期の宮城の全国・東北との売上額D I比較では、製造業、小売業で全国・東北以下、建設業、サービス業で全国以下・東北以上であった。

表－3 売上額（完成工事額）の状況 (前年同期比・D I)

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 8.0	△ 6.4	△ 2.5	△ 18.2	△ 10.0	△ 36.7
建 設 業	△ 10.6	△ 4.6	△ 20.9	△ 20.4	△ 62.5	△ 20.0
小 売 業	△ 17.7	△ 21.5	△ 24.3	△ 31.7	△ 28.6	△ 35.7
サービス業	△ 0.9	△ 6.4	△ 8.0	△ 17.3	△ 9.4	△ 17.0

### ② 採 算

宮城の今期の採算D Iは、前期との比較で製造業、サービス業が悪化、建設業で改善、小売業では横ばいとなった。

今期の宮城の全国・東北との採算D I比較では、製造業、小売業、サービス業で全国・東北以下、建設業で全国以下・東北以上であった。

表－4 採算の状況 (前年同期比・D I)

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 21.9	△ 20.4	△ 20.7	△ 29.8	△ 27.6	△ 39.3
建 設 業	△ 21.6	△ 17.0	△ 26.1	△ 34.4	△ 40.0	△ 32.0
小 売 業	△ 29.1	△ 32.1	△ 37.8	△ 41.2	△ 50.0	△ 50.0
サービス業	△ 20.8	△ 22.1	△ 27.3	△ 30.5	△ 28.3	△ 32.1

### (3) 今後の見通しについて

#### ① 県下産業全般の主要項目来期見通し

宮城の売上額（完成工事額）来期見通しD I（2026年1月～3月期）では、今期状況D Iとの比較で、製造業が12.5ポイント、サービス業で3.8ポイントの改善、建設業で△12.0ポイント、小売業では△4.8ポイントの悪化の見通しとなった。

採算来期見通しD Iでは、今期状況D Iとの比較では、製造業が21.4ポイント、建設業で12.0ポイントの改善、サービス業で△3.7ポイントの悪化、小売業では横ばいの見通しとなった。

#### ② 全国と本県企業の来期見通し比較

今期と来期見通しとの比較において、製造業では売上は全国で悪化、宮城で改善、採算では全国・宮城で改善の見通し。建設業では売上は全国・宮城で悪化、採算では全国で悪化、宮城で改善の見通し。小売業では売上が全国・宮城で悪化、採算では全国で改善、宮城で横ばいの見通し。サービス業では売上が全国で悪化、宮城で改善、採算では全国で改善、宮城で悪化の見通しとなった。

表－5 売上額（完成工事額）の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製造業	△ 6.4	△ 6.5	△ 36.7	△ 24.2
建設業	△ 4.6	△ 11.4	△ 20.0	△ 32.0
小売業	△ 21.5	△ 24.4	△ 35.7	△ 40.5
サービス業	△ 6.4	△ 9.1	△ 17.0	△ 13.2

表－6 採算の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製造業	△ 20.4	△ 18.4	△ 39.3	△ 17.9
建設業	△ 17.0	△ 20.7	△ 32.0	△ 20.0
小売業	△ 32.1	△ 30.2	△ 50.0	△ 50.0
サービス業	△ 22.1	△ 21.1	△ 32.1	△ 35.8

## 2. 県下産業別の景況

### (1) 製造業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

前年同期比D Iは、売上（加工）額D Iが今期△36.7（前期△10.0）となり前期比△26.7ポイント悪化、採算D Iでは今期△39.3（前期△27.6）で△11.7ポイント悪化、資金繰りD Iでも今期△26.7（前期△26.6）で△0.1ポイントの悪化となった。

原材料仕入単価は今期72.4（前期78.6）と△6.2ポイントの減少となった。

図1-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)

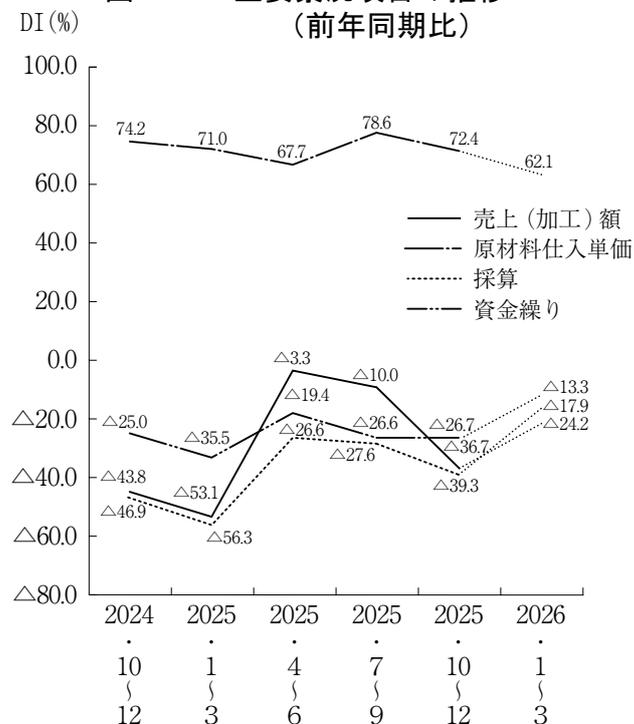
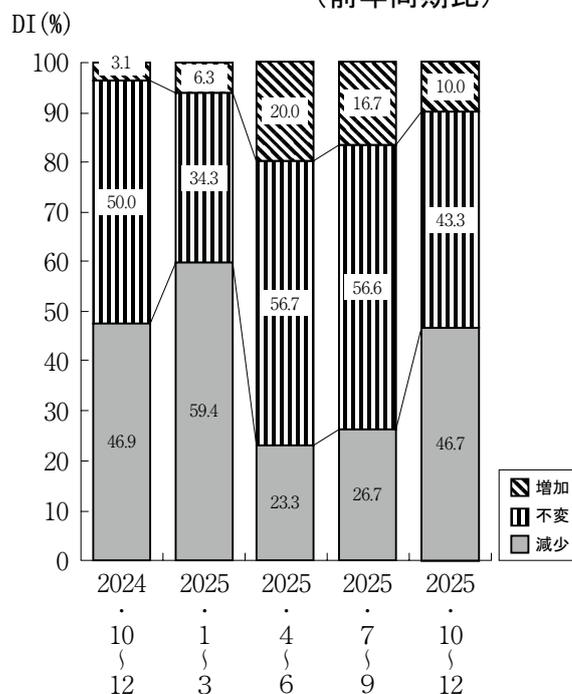


図1-2 売上（加工）額の状況  
(前年同期比)



#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上（加工）額

「増加」と回答した企業は、全体の10.0%（前期16.7%）で△6.7ポイントの減少、「減少」と回答した企業は46.7%（前期26.7%）で20.0ポイント増加した。

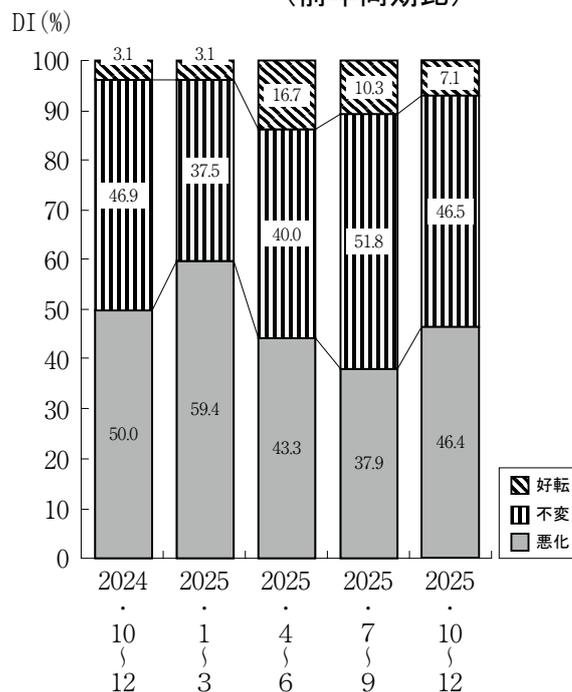
その結果、売上（加工）額D Iは△36.7（前期△10.0）となり、前期比△26.7ポイントの悪化となった。

(b) 採算

「好転」と回答した企業は全体の7.1% (前期10.3%)で△3.2ポイント減少、「悪化」と回答した企業は46.4%(前期37.9%)で8.5ポイント増加した。

その結果、採算DIは△39.3(前期△27.6)で△11.7ポイントの悪化となった。

図1-3 採算の状況 (前年同期比)



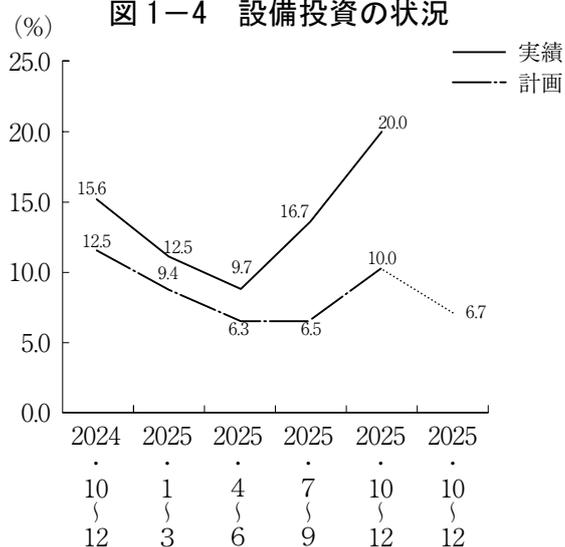
(c) 設備投資

今期の新規投資実施(実績)企業割合は全体の20.0%(前期16.7%)で前期と比べ3.3ポイント増加した。

その設備内容は、生産設備、付帯施設、OA機器であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の6.7%で、その設備内容は、生産設備、付帯設備となっている。

図1-4 設備投資の状況

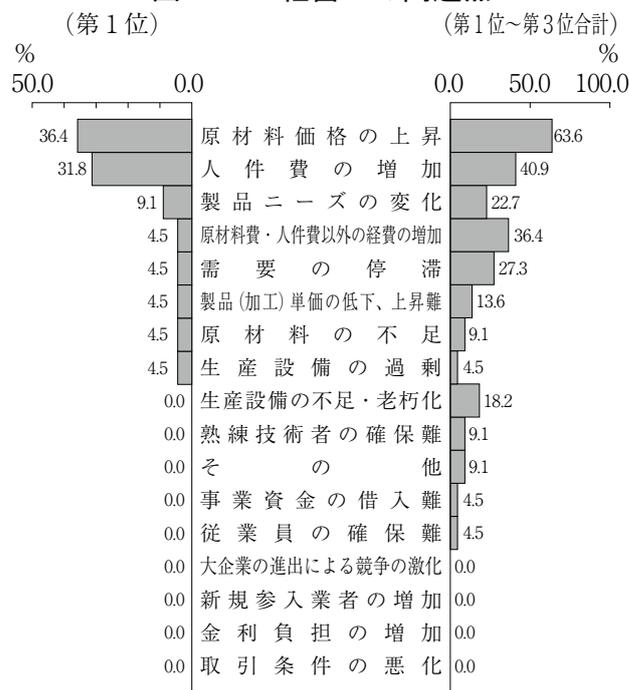


(d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「原材料価格の上昇」で36.4%、次いで「人件費の増加」が31.8%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では「原材料価格の上昇」が63.6%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「人件費の増加」が40.9%、「原材料費・人件費以外の経費の増加」が36.4%、「需要の停滞」が27.3%、「製品ニーズの変化」が22.7%、「生産設備の不足・老朽化」が18.2%、「製品（加工）単価の低下、上昇難」が13.6%、「原材料の不足」「熟練技術者の確保難」が同率9.1%で続いた。

図1-5 経営上の問題点



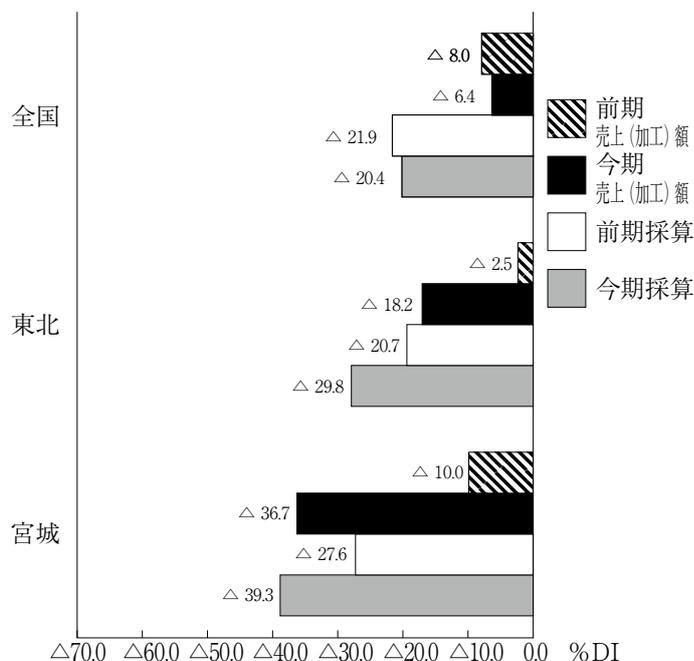
③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較で、売上（加工）額DIは全国で改善、東北、宮城で悪化となった。

採算DIでも全国で改善、東北、宮城で悪化となった。

本県回答事業者からは、「業界そのものが行き詰まり気味」（印刷業）、「通院患者の減少の中、単価上昇は困難」（補綴加工）、「売上の伸び悩み」（水産製品製造業）、「物価高による生活関連消費が低下」（畳製造業）、「良いモノづくりによりリピート率はあがる」（食料品製造業）、「人件費上昇に伴う費用対効果に苦慮」（水産製品製造業）などのコメントが寄せられた。

図1-6 全国東北宮城売上（加工）額・採算比較（前年同期比）



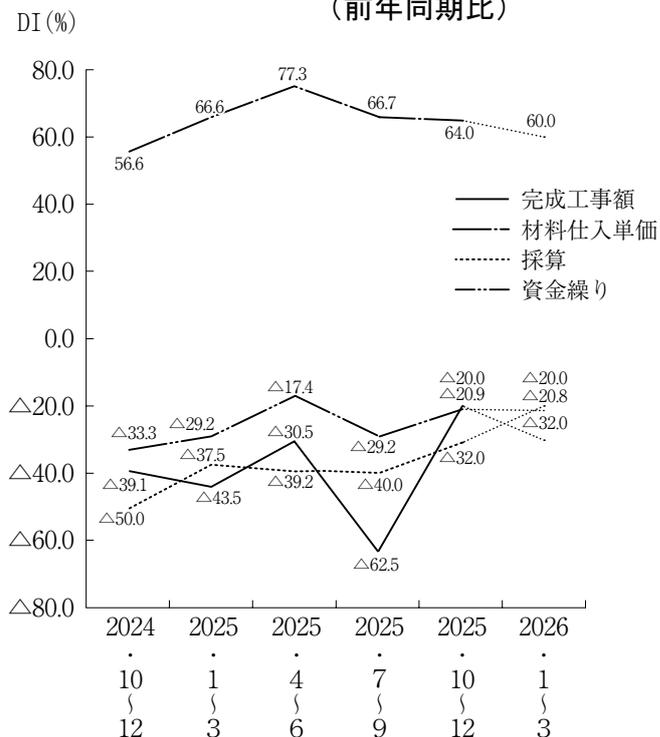
## (2) 建設業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

完成工事（請負工事）額D Iは今期△20.0（前期△62.5）となり前期比42.5ポイント改善、採算D Iでは今期△32.0（前期△40.0）で8.0ポイント改善、資金繰りD Iでは今期△20.9（前期△29.2）で8.3ポイントの改善となった。

材料仕入単価D Iは今期64.0(前期66.7)と△2.7ポイントの減少となった。

図2-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



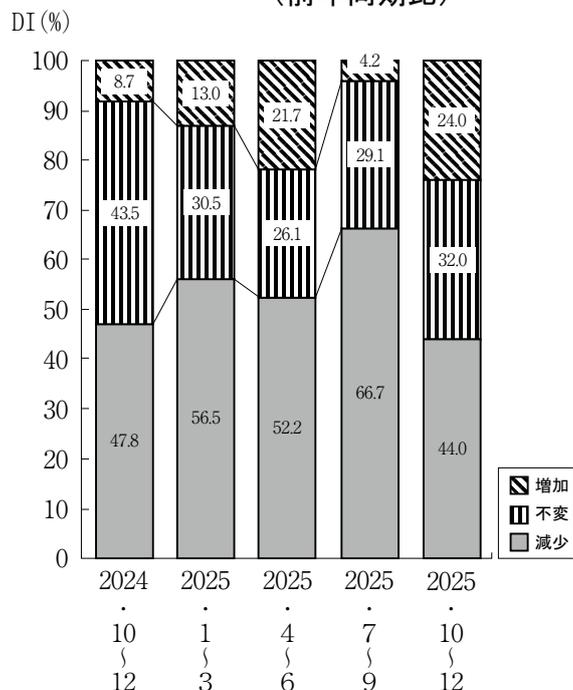
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 完成工事（請負工事）額

「増加」と回答した企業は全体の24.0%（前期4.2%）で19.8ポイント増加、「減少」と回答した企業は44.0%（前期66.7%）で△22.7ポイント減少した。

その結果、完成工事（請負工事）額D Iは△20.0（前期△62.5）となり、前期比42.5ポイントの改善となった。

図2-2 完成工事額の状況  
(前年同期比)

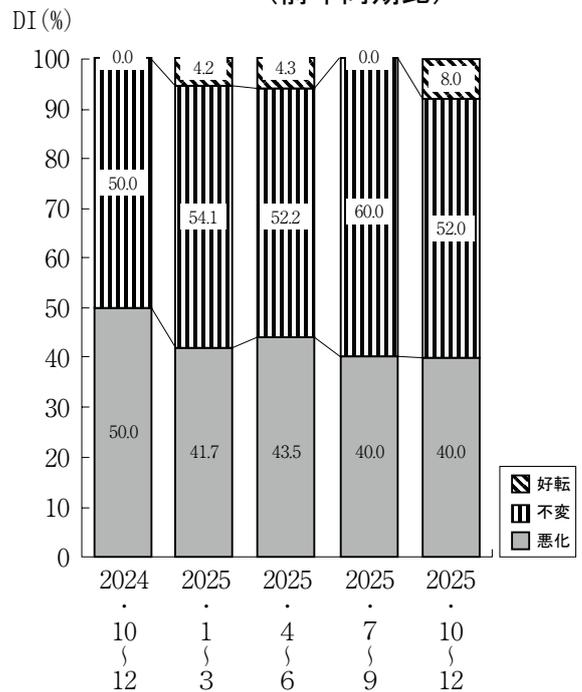


**(b) 採 算**

「好転」と回答した企業は全体の 8.0% (前期 0.0%) で 8.0 ポイント増加、「悪化」と回答した企業は全体の 40.0% (前期 40.0%) で横ばい。

その結果、採算DIは△32.0 (前期△40.0) となり 8.0 ポイントの改善となった。

**図 2-3 採算の状況 (前年同期比)**



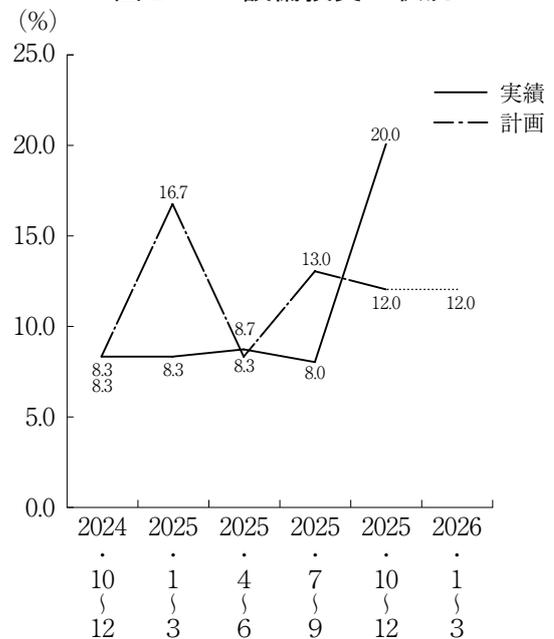
**(c) 設 備 投 資**

今期の新規投資実施 (実績) 企業割合は全体の 20.0% (前期 8.0%) で前期と比べ 12.0 ポイント増加した。

その設備内容は、建設機械、車両・運搬具、OA機器であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 12.0% で、その設備内容は、建物、車両・運搬具となっている。

**図 2-4 設備投資の状況**

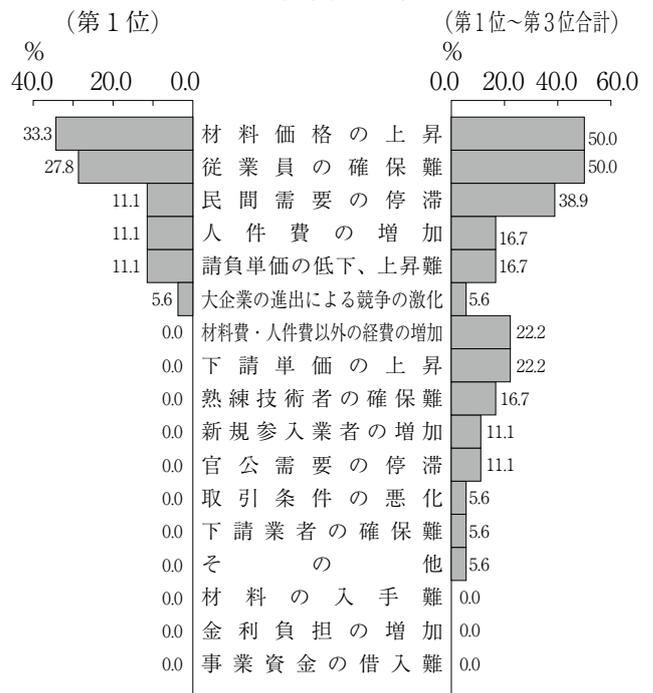


(d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「材料価格の上昇」が33.3%、次いで「従業員の確保難」が27.8%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では、「材料価格の上昇」「従業員の確保難」が同率50.0%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「民間需要の停滞」が38.9%、「材料費・人件費以外の経費の増加」「下請単価の上昇」が同率22.2%、「人件費の増加」「請負単価の低下、上昇難」「熟練技術者の確保難」が同率16.7%、「新規参入業者の増加」「官公需要の停滞」が同率11.1%で続いた。

図2-5 経営上の問題点



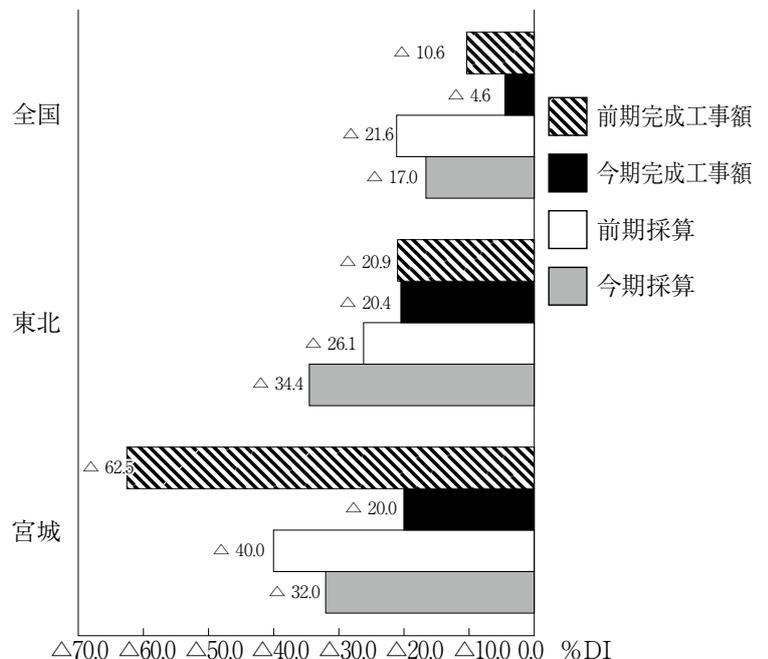
③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較では、完成工事額DIは全地域（全産業）で改善となった。その改善度は宮城、全国、東北の順であった。

採算DIでは全国、宮城で改善、東北で悪化となった。

本県回答事業所からは、「民間工事の減少により月別売上の変動が大きい。今後の受注見通しも不透明」（総合工事業）、「請負単価が低下し、経費の増加が進んでいる」（建築リフォーム工事業）、「人材確保が困難で労務外注費が上昇、利益率が悪化している。現状、現場作業員の確保が課題」（電気工事業）、などのコメントが寄せられた。

図2-6 全国東北宮城完成工事額・採算比較（前年同期比）



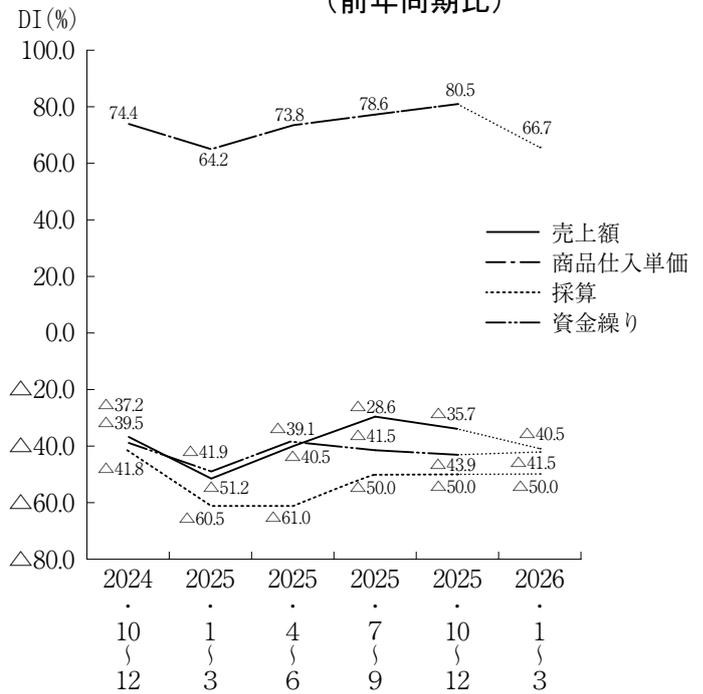
### (3) 小売業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらし

売上額DIは今期△35.7（前期△28.6）  
 ととなり前期比△7.1ポイント悪化、採算  
 DIでは今期△50.0（前期△50.0）で横ば  
 い、資金繰りDIでは今期△43.9（前期△  
 41.5）で△2.4ポイント悪化した。

商品仕入単価DIは今期80.5(前期78.6)  
 で1.9ポイントの増加となった。

図3-1 主要景況項目の推移  
 (前年同期比)



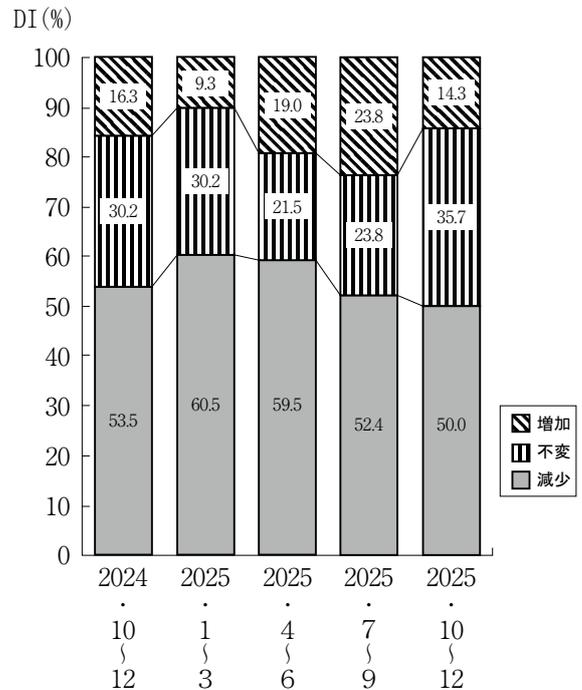
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の  
 14.3%（前期23.8%）で△9.5ポイント  
 減少、「減少」と回答した企業は、今期  
 は全体の50.0%（前期52.4%）で△2.4  
 ポイント減少した。

その結果、売上額DIは今期△35.7（前  
 期△28.6）と前期より△7.1ポイントの悪  
 化となった。

図3-2 売上額の状況  
 (前年同期比)

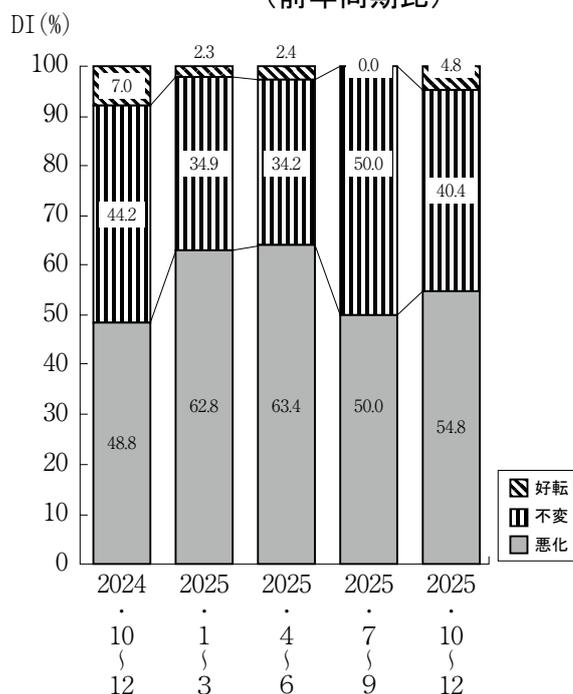


### (b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の4.8%（前期0.0%）で4.8ポイント増加、「悪化」と回答した企業は、今期は全体の54.8%（前期50.0%）で4.8ポイント増加した。

その結果、採算DIは今期△50.0（前期△50.0）となり横ばいとなった。

図3-3 採算の状況  
(前年同期比)



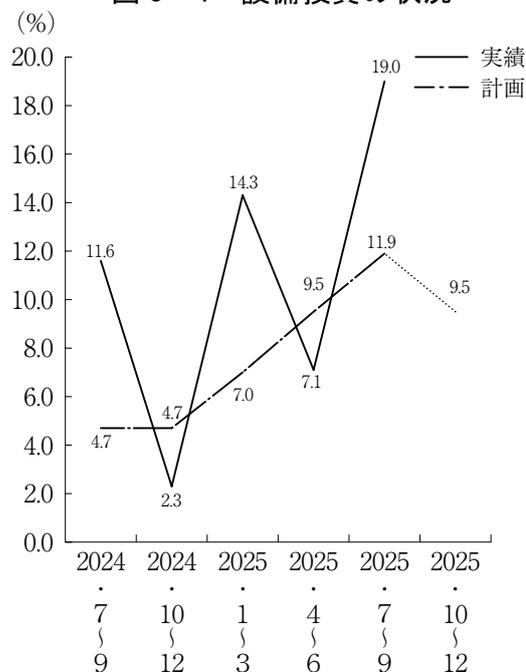
### (c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は、今期は全体の19.0%（前期7.1%）で前期と比べ11.9ポイント増加した。

その設備内容は、土地、販売設備、車両・運搬具、OA機器であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の9.5%で、その設備内容は、店舗、販売設備、OA機器となっている。

図3-4 設備投資の状況

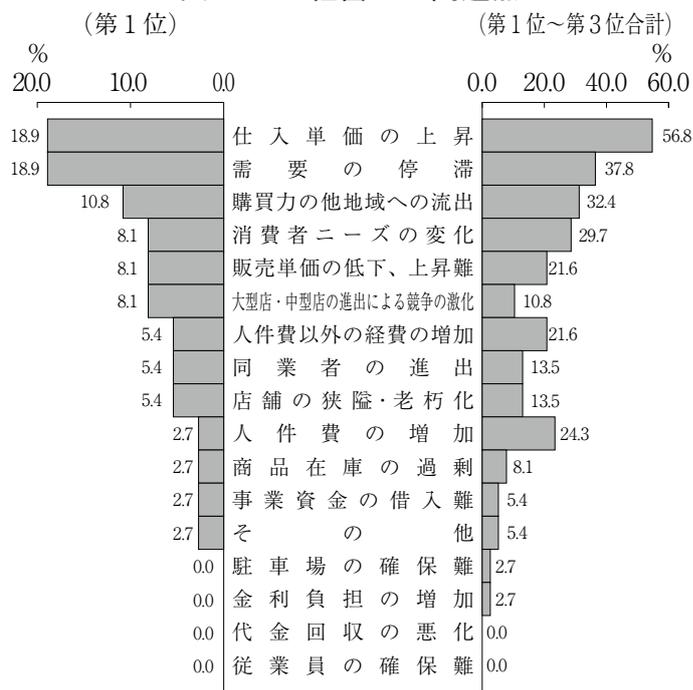


(d) 経営上の問題点

重要度第1位は、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」が同率18.9%、「購買力の他地域への流出」が10.8%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では、「仕入単価の上昇」が56.8%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「需要の停滞」が37.8%、「購買力の他地域への流出」が32.4%、「消費者ニーズの変化」が29.7%、「人件費の増加」が24.3%、「販売単価の低下、上昇難」が21.6%、「同業者の進出」「店舗の狭隘・老朽化」が同率13.5%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が10.8%で続いた。

図3-5 経営上の問題点



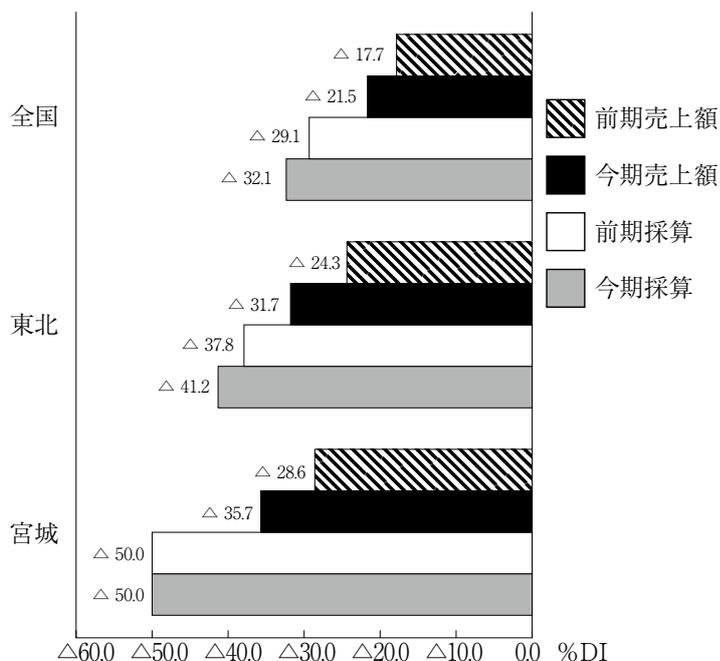
③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較では、売上DIは全地域（全産業）で悪化となった。その悪化度は東北、宮城、全国の順であった。

採算DIでは全国、東北で悪化、宮城は横ばいであった。

本県回答事業所からは、「専門店が少ないため遠方からの来店客数が増加」（写真・印章業）、「売上・客数とともに在庫も増加」（医薬品小売業）、「購買層がネット通販世代に移行、人口減少等も売上に影響」（書籍・雑貨小売業）、「購買力の低下、最低賃金の上昇、従業員の確保が困難で販売機会損失の恐れを危惧」（海産物小売業）、などのコメントが寄せられた。

図3-6 全国東北宮城売上額・採算比較（前年同期比）



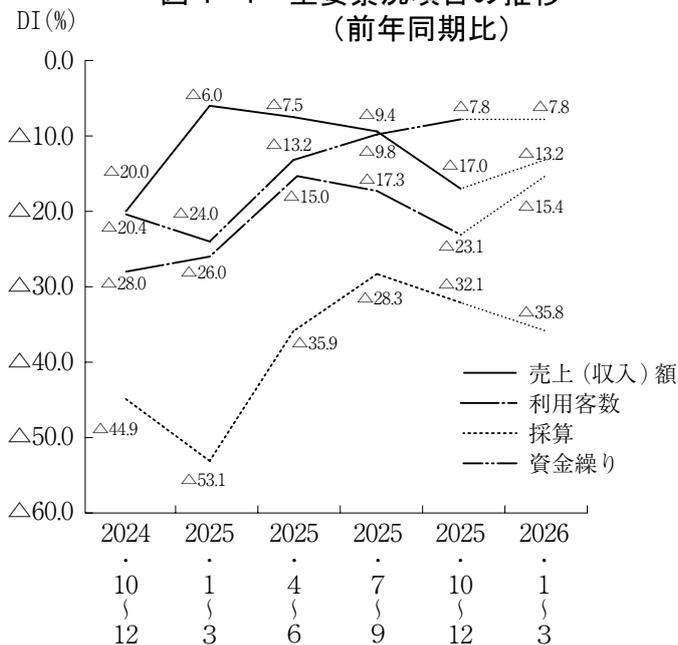
## (4) サービス業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上（収入）額D Iは今期△17.0（前期△9.4）となり前期比△7.6ポイント悪化、採算D Iは今期△32.1（前期△28.3）で△3.8ポイント悪化、資金繰りD Iでは、今期△7.8（前期△9.8）で2.0ポイント改善した。

利用客数D Iは、今期△23.1（前期△17.3）で△5.8ポイント悪化した。

図4-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



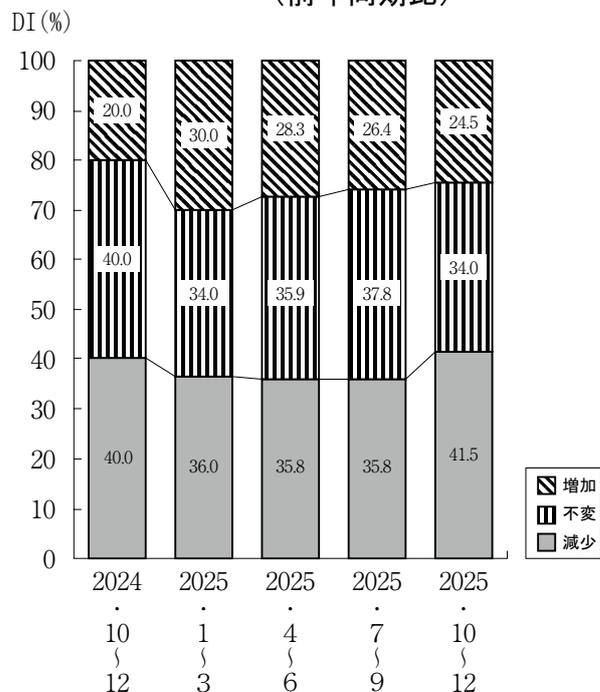
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 売上（収入）額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の24.5%（前期26.4%）で前期より△1.9ポイント減少、「減少」と回答した企業は、今期41.5%（前期35.8%）で前期より5.7ポイント増加した。

その結果、売上（収入）額D Iは今期△17.0（前期△9.4）で、前期より△7.6ポイントの悪化となった。

図4-2 売上（収入）額の状況  
(前年同期比)

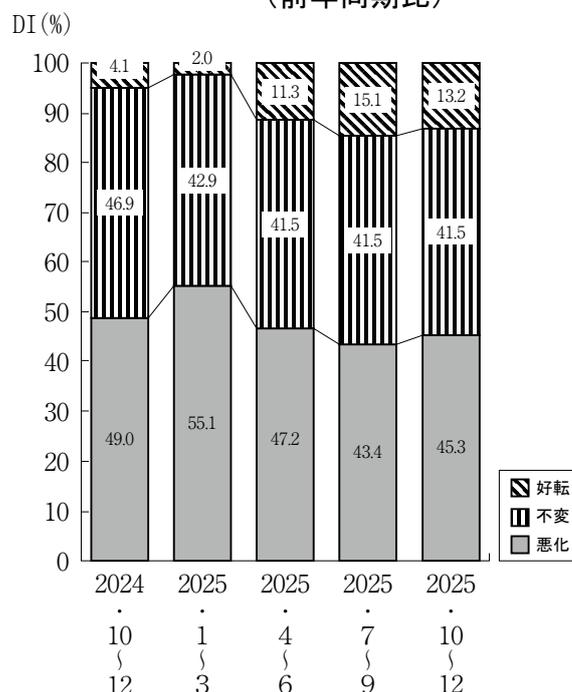


**(b) 採算**

「好転」と回答した企業は、今期は全体の13.2%（前期15.1%）で△1.9ポイント減少、「悪化」と回答した企業は今期45.3%（前期43.4%）で1.9ポイント増加した。

その結果、採算DIは今期△32.1（前期△28.3）で前期より△3.8ポイントの悪化となった。

**図4-3 採算の状況  
（前年同期比）**



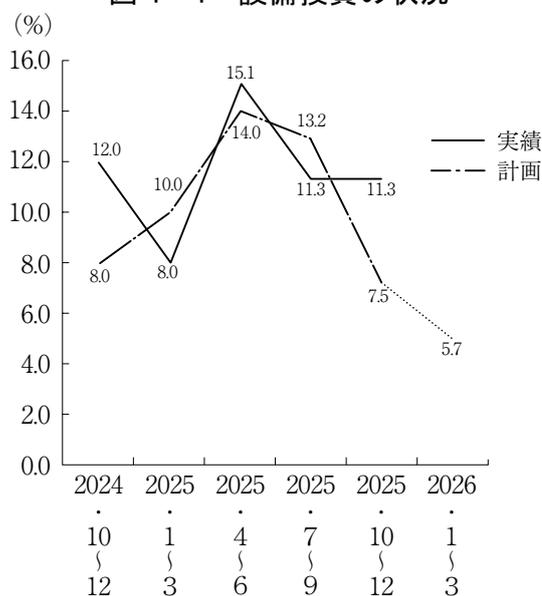
**(c) 設備投資**

今期新規投資を実施（実績）した企業は全体の11.3%（前期11.3%）で、横ばい。

その設備内容は、サービス、車両・運搬具、付帯施設、OA機器であった。

来期に設備計画している企業割合は全体の5.7%で、その設備内容は、土地、建物、サービス、付帯設備、OA機器となっている。

**図4-4 設備投資の状況**

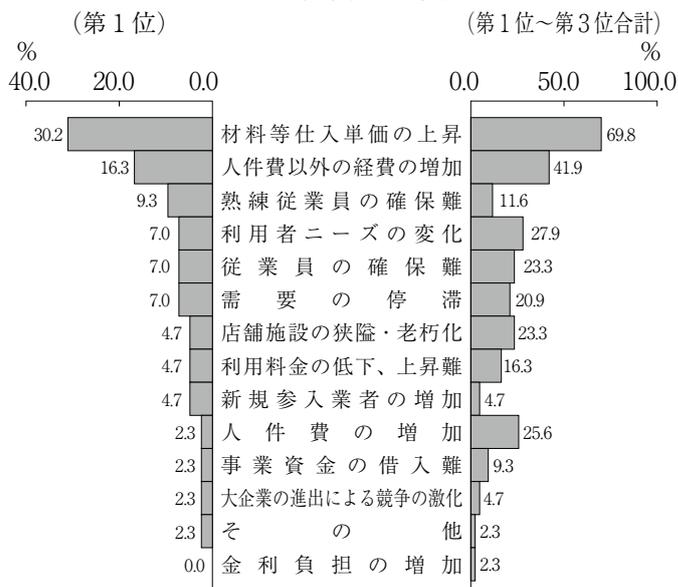


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は、「材料等仕入単価の上昇」が30.2%、次いで「人件費以外の経費の増加」が16.3%、「熟練従業員の確保難」が9.3%であった。

重要度第1位から第3位合計では「材料等仕入単価の上昇」が69.8%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「人件費以外の経費の増加」が41.9%、「利用者ニーズの変化」が27.9%、「人件費の増加」が25.6%、「従業員の確保難」「店舗施設の狭隘・老朽化」が同率23.3%、「需要の停滞」が20.9%、「利用料金の低下、上昇難」が16.3%、「熟練従業員の確保難」が11.6%で続いた。

図4-5 経営上の問題点



### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較で売上DIは全地域（全産業）で悪化。その悪化度は東北、宮城、全国の順であった。

採算DI比較でも全地域（全産業）で悪化。その悪化度は宮城、東北、全国の順であった。

本県回答事業所からは、「FLR比率が高く、利益確保に苦慮」（飲食業）、「光熱費や材料費が高騰している中、価格転嫁できず苦戦」（飲食業）、「調理人の確保が困難であり、食の提供の見直しを検討」（宿泊業）、「無料デザインや安価なソフト購入等へ顧客ニーズが変化」（デザイン業）、「来店間隔が延びている」（理美容業）、などのコメントが寄せられた。

図4-6 全国東北宮城売上（収入）額・採算比較（前年同期比）

